

【模範解答】

①

日本史 B

受験番号			氏名		

1

問1	①	ウ	②	カ	③	キ	④	コ	⑤	ク
問2	イ	問3	オ	問4	ア	問5	エ	問6	(1)	

2

問1	(1)	平城京			(2)	ウ	(3)	和銅				
	(4)	歳役			(5)	イ	(6)	イ				
問2	(1)	運脚			(2)	木簡			(3)	ウ	(4)	ア
	(5)	ア	(6)	続日本紀								

3

問1	ウ	問2	宗氏			問3	エ	
問4	(1)	エ	(2)	勘合(符)			(3)	エ
問5	木綿							
問6	(1)	ウ	(2)	尚巴志			(3)	イ
	(4)	中継貿易						
問7	応永の外寇			問8	ウ			

4

問1	ア	問2	ア	エ	問3	ウ	問4	ウ										
問5	(1)	オランダ風説書			(2)	イ												
問6	(1)	ウ	(2)	ウ	(3)	ア	問7	(1)	ア	(2)	イ	問8	(1)	イ	(2)	エ	(3)	ウ

合計	
----	--

# 2022年度一般入試 A 日程

## — 傾向と対策 —

### 日本史 B

#### 出題のねらい

高等学校の日本史 B の教科書で学習する範囲を中心にして出題しています。基本的には、歴史を学ぶ目的を理解し、具体的な事実を正しく認識しているかどうかを重要視しています。昨今は現代との繋がりで歴史を理解する力が社会に求められていることもあり、単なる人名や年代の機械的な暗記ではなく、「国境」や「公害」のような中間的なテーマに着目して、古代から現代までの変遷を把握・理解していくことが必要です。

#### 出題形式・内容（分野）について

出題の形式は、次の 2 つのパターンで構成されています。

- ①文章や史料の空欄の部分に語群や選択肢から正解を選んで充当する。
- ②文章や史料を読んで下線部分の設問に解答する。

内容は、政治・外交・経済・文化にわたり、テーマに即してそれらの分野が組み合わさって出題されています。

[1] は、近代日本の国際秩序について基本的な事項を出題したものです。[2] は、古代の史料の理解をみるものです。[3] は、中世日本における国際関係の理解をみるものです。[4] は、近世から近代までの外交と経済の関わりについて、基本的な事項の理解をみるものです。出題される用語は基礎事項にしぼってありますが、文章を注意深く読み、論理的に整合的な解答を導き出そうとする姿勢を求めています。

#### 採点後の感想・効果的な学習方法

基本となるのは教科書の歴史記述をもとにした学習です。重要な歴史事象を覚えるだけではなく、その周辺にある説明も含めて、原因から結果までをセットで理解しておくこと、正誤問題等での得点アップが望めます。また、正しい書き取りを繰り返し行い、文字の記載ミスなどのケアレスミスが減らすと、得点も伸びるでしょう。さらに、史料がどのような歴史事象を表しているのかという問題について丁寧に学習することは、思考力や推理力を伸ばすことにつながるでしょう。また、歴史はあとから判明した事実が、過去の解釈を大きく変えてしまうこともしばしばあります。そのため、目の前にある史料や文章から、整合的な解答を導こうとする態度を養っておくことが大変重要となります。一度問題文全体をしっかりと読み、全部を見渡したうえで、問題に取り組みましょう。そのためには、文章を読み、理解するスピードが重要であることは、間違いない事実だといえます。